



## 大山 健太郎

社団法人東北経済連合会 副会長

### 中国の流通の現状

当社が中国・大連に日本向けの生産拠点として進出してから20年が経つ。当初は、安い人件費を活かしたプラスチック製品の組立拠点としての位置づけだったが、現在ではプラスチック成形のみならず、金属製品、木製品、ペットフード等様々な素材を使った商品の生産を行うデパートメントファクトリーとしての位置づけに変わり、日本向けの生産拠点だけではなく、中国国内向け、或いはアメリカ、ヨーロッパ向けの生産拠点でもある。

中国国内市場に向けた出荷も年々増えてきており、その要因となっているのが、中国市場におけるインターネット通販の成長にある。2011年に8千億元だった市場は、14年には2兆8千億元（約52兆円）と3年で3.5倍に成長した。今後も3割ペースで伸びるものと思われる。急激に成長した要因は通信環境がパソコンからスマートフォンに変わったことが挙げられる。購入者の実に42%がスマートフォン等のモバイル通信による購入である。また、1、2級といわれる主要都市だけではなく、3、4級都市、あるいは一部農村にまで広く普及しており、ユーザーは3.6億人に達し全人口の約3割に当たる。ユーザー人口の増加だけではなく、一人当たりのネット購入額も毎年20%を超える勢いで伸びており、14年が7,700元（約14万円）、15年には1万円近くまで増える見込みで、インターネット通販は中国の小売全体の約10%を占めるに至っている。日本の一世帯当たりの月平均購入額が6,400円、市場規模が約3.6兆円なので、いかに中国におけるインターネット通販市場が大きく、目覚ましい成長を遂げているかがお分かりいただけるだろう。

当社も一時165店舗の直営店を構えていたが、インターネット販売へのシフトが進んだことで現在は30店舗まで減らしている。今後の課題は、物流拠点の整備と配送サービスの品質改善になってくる。現在、大連と蘇州の2拠点から出荷しているが、さらに物流拠点を増やしていきたいと考えている。また、取り扱い商品についても日本での売れ筋情報を元に品揃えを増やし、日本基準の品質の高い商品を増やすことで、中国市場における優位性を獲得していきたい。

中国におけるインターネット通販市場はますます大きく、また早いスピードで成長していく。当社もスピーディに対応し成長させていきたいと考えている。

（アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役社長・おおやま けんたろう）